

箕面の森の未来 これからの10年を一緒に考えよう！



箕面の里山を彩るコバノミツバツツジ

これまでの山麓保全活動やNPO法人の活動の10年・20年を振り返り、これからの箕面の森の未来を一緒に考える、20周年記念イベントを開催します。

箕面市の山なみ景観保全の施策から始まった山麓保全活動、「三者協働」の取り組みの中で、多くの山林所有者や市民の皆さまの活動で支えられてきました。

一方、山麓保全ファンドの枯渇と森林環境譲与税などへの財源の移行、ニホンジカの食害などによる森林生態系の劣化、気候変動の影響による自然災害の脅威、山林所有者からの山林整備サポート要請の増加、ボランティアスタッフの高齢化など、近年、山麓保全活動をとりにくく外部や内部の環境が大きく変化してきました。

これまでの活動の実績や課題を振り返り、さまざまな環境変化に対応するため、これからの箕面の森での保全活動について、一緒に考えましょう！

みのお山麓保全活動 20周年記念イベントを開催します！

- ◆日時：2023年7月17日(月・祝)午後13時～16時(予定) ◆人数：100名 ※事前予約必要 参加費は無料。
- ◆場所：箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンブラザ1号館)8階 大会議室
- ◆記念講演：箕面の森の課題と未来について(仮) 増田 昇氏(LAまちづくり研究所 所長・大阪府立大学名誉教授)

箕面の森を食べつくす、増えすぎたシカによる深刻な被害！

木々が芽吹き、新緑が美しい季節ですが、箕面の森を歩くと、下の写真のような草木をよく見かけるようになりました。これらの植物は、有毒成分を含んでいたり、独特の臭いを出すので、**シカが食べない、シカが嫌いな植物**です。シカの生息密度が高くなりすぎると、シカが好きな植物は食べつくされてしまい、嫌いな植物ばかりが目立ちます。

増えすぎたシカによる被害は深刻です。**森林生態系や農林業に大きな影響**を与えているだけではなく、**地面が裸地化**することで、**土壌の流出や保水力の低下による土砂崩れ**のリスクが高まっており、シカ害対策が課題になっています。



マツカゼソウ



アセビ



ミツマタ



タケニグサ



ダンドボロギク



チャノキ



センダン



ジャケツイバラ



レモンエゴマ



イワヒメワラビ



クサギ



シロダモ



シキミ



ニシノホンモンジスゲ



ナルトサワギク

3月12日(日)「こもれびの森」で 花の咲く木の植樹などを行いました。

「こもれびの森」は「生活環境保全林」に指定されており、市民に安らぎや憩いの場を提供するとともに、雨水を貯えて土砂災害防止の役割を果たすなど、**森林が持つ公益的な機能の向上**が求められています。2020年から始めて今年で4年目になりますが、花の咲く木などの植樹活動を中心に、ベンチの設置や道の整備なども行いました。



住友ゴム工業CSR推進室のご協力をいただき、明石市にある育苗センターから、3月6日に無償で苗木のご提供を受け、3月12日に、**ガマズミ・ムラサキシキブ・タニウツギ各10本、エノキ15本、ヤマザクラ2本計47本**の苗木を「こもれびの森」の防鹿柵内に植樹しました。

※上記の苗木以外に、**コナラの苗木60本**の提供を受けて、山麓部で里山管理活動を行っている3団体に配布しました。

今年の植樹活動には、山麓保全委員会や市公園緑地室の他、箕面の森のきこり隊、みのおフォレストーズ、箕面の山パトロール隊、箕面観光ボランティアガイド、箕面マウンテンバイク友の会、箕面ナチュラルリストクラブ、箕面生きもの会議、音羽山荘などから、**計41名**が参加しました。



防鹿柵の外は、シカによる食害が激しく、単木用のネットを取り付けて植栽したヤマザクラが大きな被害を受けましたが、2022年試験的に50本植栽したミツマタは、シカに食べられることなく順調に生育しました。

2023年も、園芸業者に委託して、**ミツマタを50本**を追加で植栽した他、やや半日陰になる道沿いには、同じくシカが嫌いな**アセビ30本**を植栽しました。

園芸業者への植栽委託費用、防鹿ネットや資材の購入、苗木の調達など、植樹を行うためには**一定の財源が必要**です。今回の植樹活動にかかわる費用約**75万円**は山麓保全委員会にいただいた**寄付金を活用**させていただきました。

来年もこの時期に植樹を行う予定です。「こもれびの森」が市民に親しまれ、健全な森の機能が活かされた森になるよう、皆さまのご支援をお願いします。



防鹿ネット内に植樹



ヤマザクラネットの補修



樹名札を取り付け



Aネット金柵内に植樹



シカが嫌いなアセビを植樹



シカが嫌いなミツマタを植樹



間伐材で製作したベンチ



ハイキング道の整備

4月23日(日)みのおキューズモールで「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう!」を開催します。

広場では木こり体験や自然素材を使った工作体験の他、山麓保全活動や箕面の自然の紹介などを行います。ステージでは音楽演奏や森の紙芝居、箕面滝道クイズを行う他、ぜひ、みのおキューズモールにお立ち寄りください。

山とみどりのフェスティバル「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう!」

☆ 日時:**2023年4月23日(日)**午前11時~午後3時30分(予定) ※雨天中止

☆ 場所:みのおキューズモール EASTエリア-1F キューズステージ周辺



写真はイメージです



木こり体験



工作体験



紙芝居

5月27日(土) 山林整備ボランティア養成講座を開催します。

山林整備ボランティア養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒に安心して活動できます。毎年、山林所有者からのボランティア派遣の要請件数が増えており、要請に応えるために、山林整備サポーターとして活躍していただける方を募集しています。

山林整備サポーター ボランティア養成講座

☆日時:2023年5月27日(土)午前10時～午後3時ごろ ☆集合:箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」午前9時45分

☆内容:午前…基本的な技術や安全知識を学ぶ講義 午後…近くの民有林で、倒木処理や間伐などを体験

※参加費は無料、事前申込が必要(先着10名)

◀山林整備ボランティア派遣の仕組み▶

山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で山林の手入れが出来ない場合に、山麓保全委員会が山林所有者からの要請を受けて、山林整備を行うボランティアを派遣する仕組みです。2022年度は、56件の山林所有者から派遣要請を受けて、山林整備ボランティア養成講座の修了生が、秋から冬にかけて活動しています。



6月11日(日) みのお森のセラピー ～With西江寺で季節のお弁当～を開催します。

～駅ちか 週末は箕面の森で～癒しの森を歩く

森のセラピーのプログラム提供とあわせて、季節のお弁当 音羽山荘の「季寄せ弁当」を西江寺の聖天閣で召し上がっていただける特別企画です。

こころとからだの癒し効果を高めることを目的としたセラピープログラムを箕面の森のセラピーアシスターがガイドします。

☆日時:2023年6月11日(日)午前10時～午後2時ごろ ☆集合:阪急箕面駅

☆内容:箕面公園桜広場方面へゆっくり歩いてセラピープログラム。ハンモック体験など

昼食 西江寺聖天閣で音羽山荘の「季寄せ弁当」

☆料金:4500円/一人(お弁当代を含む) ☆定員:15名、事前申込が必要



7月17日(月・祝) 20周年記念イベントで「みのお山麓保全ガイドブック」を配布します。

近年、大きく変化してきた自然環境や山麓保全活動を取りまく変化などに対応していくため、「山麓の樹林管理のガイドライン」(2007年)の改訂作業を行っています。7月17日に行う山麓保全活動の20周年記念イベント会場で、「みのお山麓保全ガイドブック」の概要をご紹介しますとともに、配布させていただきます。

箕面の森に興味や関心を持ち、学ぼうとされている方を対象に、出来る限り、初めての人でも読みやすく、里山に関する基礎的な知識、箕面の森の現況と課題に加えて、山麓保全活動や未来につなぐ森づくりについても、まとめています。

「みのお山麓保全ガイドブック」を活用していただき、多くの市民の皆さまが、楽しく・守り育て・活かす「箕面の森の守りびと」になっていただければ幸いです。

…みのお山麓保全ガイドブック「箕面の里山の伝統文化」から抜粋…

ひと昔前まで、里山は里人の日常生活や農業生産に深く関係していました。人びとは里山との密接なつながりの中で、様々な民俗行事を通じて、自然の恵みに対する感謝や畏敬の念を育んできました。

【まんどろ火祭り】 盆の送り火と愛宕信仰がミックスした行事で、300年以上の歴史があります。

かつては萱野10か村でお盆の時期に行われていました。昔は山の中腹にある愛宕神社で祝詞をあげて、松明をかざして「マードロ、火とぼせ」と高唱しながら山を下りてきました。

←まんどろ火祭り(かやの中央で復活)

【愛宕信仰】 箕面の旧村(平尾、白島、石丸、坊島、外院、粟生外院、粟生新家、間谷奥、間谷中村、小野原、西宿、新稲)ごとに、防火の神様である愛宕社の祠を置き、火の災いが降りかからないよう、村々を見守ってきました。祠の多くは、村全体を見渡せる山の尾根に設けられています。

愛宕社(白島)→



秋開催の「山とみどりのフェスティバル」の日程が決定しました。

☆生物多様性研究フォーラム 2023年9月24日(日)

午後1時～午後3時30分(予定)

人数:100名、※事前予約必要 参加費は無料
☆箕面文化・交流センター(箕面駅前サンプラザ1号館8階)
☆増えすぎたシカ害対策について(予定)



箕面公園 瀧安寺前広場



箕面文化・交流センター 8階

☆自然体験フェア 2023年11月3日(祝・金)

午前10時30分～午後3時(予定)

☆箕面公園瀧安寺前広場など
☆自然工作や体験、みどりを守る活動の紹介など

みのお森の学校～人と自然の入門講座～ 第19期の受講生を募集します。

☆2023年9月17日(日)～2024年6月16日(日)全11回

☆定員:20名(申込順) ☆受講料:13,000円

※特典:受講生に野鳥のブローチを進呈

森や自然のこと、もっと知りたい学びたい人のための入門講座です。

実習と講義の連続講座ですので、森を楽しむ新しい仲間にも出会えます。

卒業生は森で活躍しています。



野鳥のブローチ



森とのふれあい



山の手入れの実習

景観を損なっていた倒木を処理をして、資源として有効活用する試みを始めました。

箕面ドライブウェイの景観を損なっていた「やっかいものの倒木」を有効活用できないか！

山麓保全委員会に薪ストーブ利用者から、薪として活用できる木材がないかとの相談を受けたことをきっかけで、新しい試みを行いました。薪ストーブ利用者に倒木処理に汗を流していただくと共に、資源として有効に利用していただくため、利用可能な材は持ち帰っていただきました。

薪を燃やすと二酸化炭素が発生しますが、樹木が大気中から二酸化炭素を吸収・固定したものであるため、化石燃料を燃やす場合と違って、二酸化炭素濃度の上昇にはつながりません。

今回は箕面市の了承を得て、このような活動を行いました。車で倒木を搬出するためには道路に近いことが条件になります。出来る限り、倒木を資源として活用できればと考えています。ご意見や情報の提供をお願いします。



倒れたままで放置されていた枯死木



玉切りして、搬出する前の枯死木



5月28日(日) NPO法人みのお山麓保全委員会の定期総会を開催します。

第21回定期総会を行います。昨年度の事業について報告した後に、本年度の事業計画案を説明します。皆さまからのご質問やご意見をお聞きます。

※正会員以外の方でも傍聴可能です。(事前に事務局にご連絡ください)

☆日時:2023年5月28日(日)午前10時～12時(予定)

☆場所:箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)4階会議室

☆2022年度の事業報告、2023年度の事業計画と予算、役員を選任など



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ:www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

*箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

